

4. 幸町地区

(1) 幸町地区の概況

東武東上線の志木駅と柳瀬川駅の間に位置する広域交通の利便性が高いエリアで、大部分が土地区画整理事業によって一体的に都市基盤が整備された地区です。

近年、柏町に次いで人口増加が著しく、子育て世代も増加しています。



(2) 幸町地区の人口動向

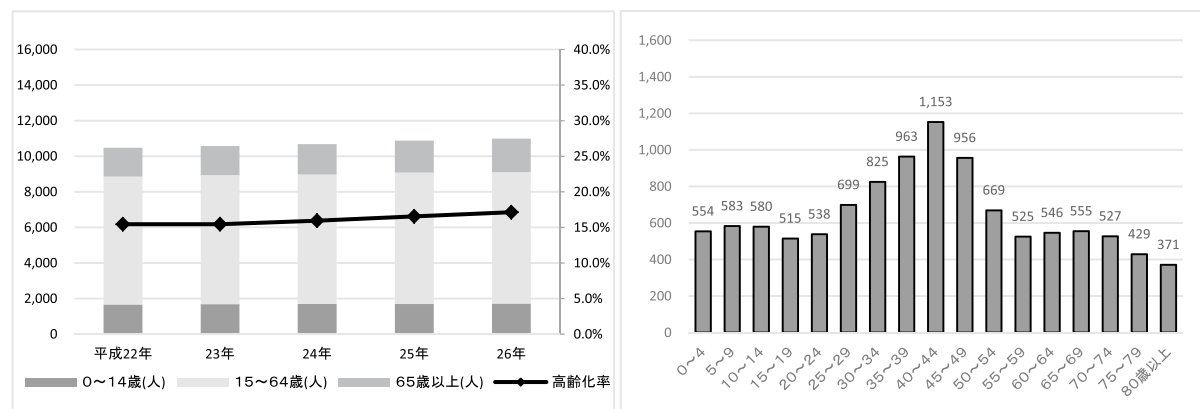
近年の人口は、平成22年の10,472人から平成26年の10,988人と増加傾向となっています。高齢化率は他地区と比較して低く、平成26年で17.1%となっています。

年齢別の人口構成では、20歳代後半～50歳代前半が多くなっています。

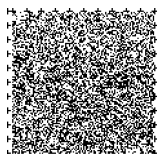
■年齢3区分別人口及び高齢化の推移

	平成22年	23年	24年	25年	26年
総数(人)	10,472	10,572	10,680	10,882	10,988
0～14歳(人)	1,666	1,687	1,701	1,698	1,717
15～64歳(人)	7,188	7,253	7,276	7,382	7,389
65歳以上(人)	1,618	1,632	1,703	1,802	1,882
高齢化率	15.5%	15.4%	15.9%	16.6%	17.1%

■年齢3区分別人口及び高齢化の推移（グラフ） ■平成26年の5歳階級別人口（グラフ）



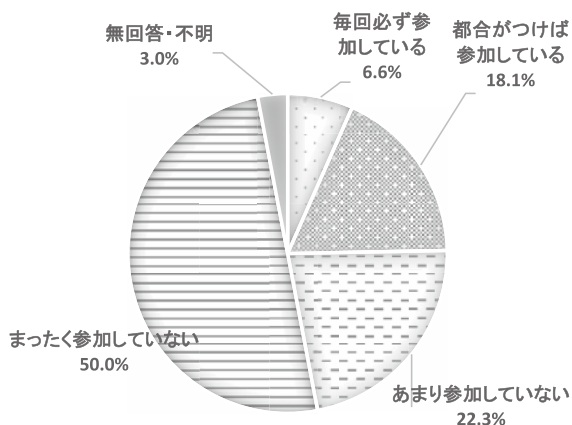
出典：埼玉県町（丁）字別人口調査各年1月1日現在



(3) 幸町地区の市民意識

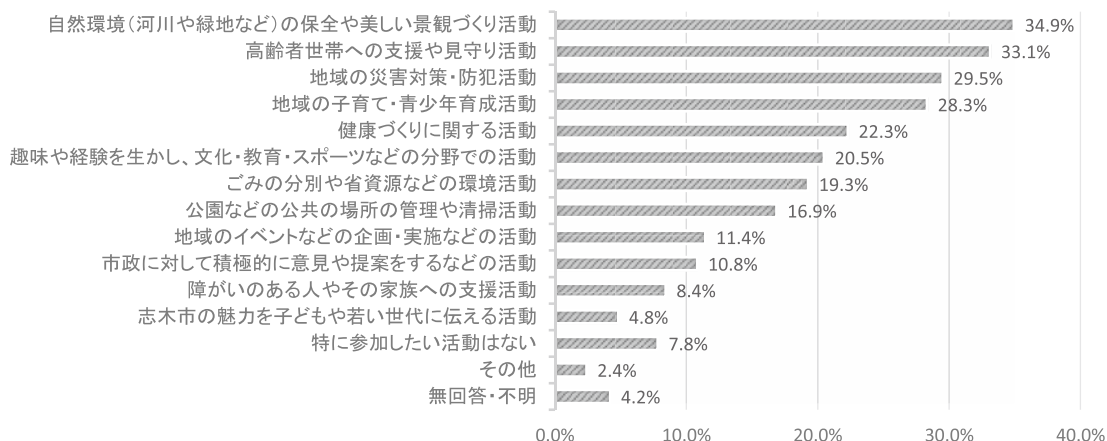
- 地域活動への参加状況は、本町地区や柏町地区と同様の傾向であり、約半数が参加していない状況にあります。
- 市民力を生かしたい活動の内容は、「自然環境（河川や緑地など）の保全や美しい景観づくり活動」が34.9%と最も高くなっており、環境や景観に対する意識が高いことが特徴的です。

■地域活動への参加



(N=166)

■市民力を生かしたい活動



(N=166)

※市民意識調査（調査項目の中から、「市民力」に関連する項目）を抜粋

(4) 地区まちづくり会議からの主な意見

① 問題点・課題

- ・「少子高齢化」については、地域の高齢化が進行することに対する不安や育児に対する支援の必要性に関しての課題があがっています。
- ・「コミュニティ」「施設」については、地域の交流や町内会の連携、集まれる場の少なさ等があがっています。
- ・「マナー」の悪さや歩道の狭さ、交通量の多さなど「交通」について、夜道が危険なところがあるなど「防犯・防災」に関しての課題もあがっています。

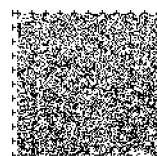
② 優れている点・強み

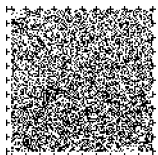
- ・「コミュニティ」について、地域の活動が活発である、地域の連携がとれている等が強みとしてあがっており、「住環境」では、住みやすさや施設の充実等があがっています。
- ・駅への近接性や交通の便のよさ等といった「利便性」も強みとしてあがっています。

③ 地区で主体的に取り組んでいるまちづくり活動

- ・「防犯・防災」に関する活動として、防犯パトロールやあいさつ運動の実施、「イベント」に関する活動として、祭りの実施等に取り組まれています。

※地区まちづくり会議の意見から、多かった意見や地区を特徴づける意見を抽出





（５）幸町地区の課題

地区の現状を踏まえ、特に地区で解決すべき重点的な課題として、「地区の活性化」「コミュニティ」「住環境」の３つの視点で課題を整理します。

【地区の活性化に関する課題】

- 交通の利便性が高く生活環境が充実した住宅地が形成されており、今後も人口定住の受け皿として機能することが求められています。

【コミュニティに関する課題】

- 転入者による人口増加が著しい中、活発な地域活動や地域間の連携により、住民相互の交流によるコミュニティの形成が必要です。また、新規住民においては、団地やマンション単位での新規居住者による新たなコミュニティの形成が必要となっています。
- 子育て世代が増加しているため、子育て環境の充実が求められています。

【住環境に関する課題】

- 一体的な都市基盤整備を生かすために、計画的な土地利用誘導などが求められています。また、道路が狭い地域では、歩行者の安全性を確保することが必要となっています。

（６）幸町地区のまちづくり方針

以下の方針に基づき、具体的施策に取り組みます。各地区のまちづくりの方針、具体的施策を推進することで、将来構想に掲げる市の将来像の実現を目指します。

方針１

一体的な基盤整備を生かした計画的な土地利用の実現により、交通の利便性が高い良好な住環境の保全を図ります。

【具体的施策】

持続可能なまちづくりの推進

【取組内容】

人口減少や超高齢社会に対応するため、将来にわたって都市機能を適正に維持管理し、各地域が持つ特性を生かした持続可能なまちづくりを推進します。
また、都市の景観を守るため、景観形成の推進を図ります。

市民の足の確保

高齢者や障がい者などが暮らしやすい交通の利便性が高いまちづくりを推進するため、「市民の足の確保」に向けて志木市型デマンド交通を実施します。

方針２

安心して子育てができるように、公園・遊び場などの空間整備とともに、子育てサポートの拡充を図ります。

【具体的施策】

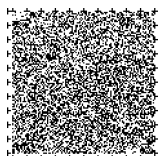
子育て家庭への支援

【取組内容】

出産や育児に伴う経済的、精神的な不安を軽減し、在宅の子育て家庭を含めたすべての子育て家庭が、安心して楽しく子育てができるよう、ライフステージにあわせた支援を行います。

安全で快適な公園の整備

市民が安全に公園を利用できるよう公園施設のパトロールを実施し、事故防止に努めるとともに、市民との協働による維持管理を進めます。また、公園における世代間交流や地域住民のニーズに合わせた遊具のリニューアル、健康遊具や防災設備の設置など、誰もが快適に過ごせる公園の整備を進めます。



方針3	コミュニティ施設の充実や市民が集う場づくりなどにより、新旧住民や多様な世代の交流を促進し、市民が一体となった地域活動や住み心地の良いコミュニティの形成を図ります。
------------	---

【具体的施策】	【取組内容】
地域コミュニティの活性化	町内会をはじめとする地域のコミュニティ団体の育成や活動の支援を通じて、市民のコミュニティ意識の高揚と地域コミュニティの活性化を促進し、豊かな地域社会づくりを推進します。
コミュニティ拠点の整備	地域コミュニティの拠点である町内会館や集会所等について、安全で安心して利用できるよう、必要な整備と活用のための助成を行います。

